ホクコーオリゼメート®粒剤２０

■種 類 名：プロベナゾール粒剤
■有効成分：プロベナゾール---------- 20.0%
■化管法指定物質：プロベナゾール［第１種］ ---------- 20.0%

■登録番号：第16019号
■毒　　性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：1985.02.21
■性　　状：淡褐色細粒
■有効年限：4年
■包　　装：20kg×1袋

【特長】

- 本田オリゼメートの空中散布用薬剤。
- 無人航空機にも適用のある取り扱いやすい粒剤タイプの薬剤。
- 湛水直播水稲の土中施用でも使用できる。

【適用内容】（2024 年 11 月末日現在）

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾌﾟﾛﾍﾞﾅｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数
湛水直播水稲	いもち病	1kg/10a	は種時	1回	は種同時施薬機を用いて土中施用する。	2回以内（は種時までの処理は1回以内）
稲			移植時		側条施用	2回以内（移植時までの処理は1回以内）
			収穫 14 日前まで	2回以内	空中散布	
					無人航空機による散布	
					散布	

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- は種時に使用する場合は、直播栽培に使用し、専用のは種同時施薬機を用いること。
- 移植時に使用する場合は、次の注意を守ること。
  - ◆ 専用の移植同時施薬機を用い、側条施用すること。
  - ◆ 移植後は湛水状態（湛水深３～５㎝）を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意すること。
  - ◆ 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予想される場合には使用をさけること。
- 空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ること。
  - ◆ 散布は散布機種の散布基準に従って実施すること。
  - ◆ 散布機種に適合した散布装置を使用すること。
  - ◆ 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整すること。
  - ◆ 本剤は湛水状態（湛水深３～５㎝）でまきむらのないように均一に散布し、散布後少なくとも４～５日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らせたりしないように注意し、また散布後７日間は落水、かけ流しはしないこと。
  - ◆ 散布薬剤の飛散によって他の動植物等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
  - ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
  - ◆ 散布終了後は次の項目を守ること。
    - ① 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に処理すること。
    - ② 機体の散布装置は十分洗浄し、タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
  - ◆ 本剤は予防的に散布した場合に有効である。葉いもち防除の使用適期日は、初発の７～１０日前であるので、発生予察情報に注意して時期を失しないように散布すること。穂いもち防除の使用適期は、出穂の３～４週間前である。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合は使用をさけること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤食などのないように注意すること。
- ❖ 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。
  付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物との接触を避けること。
- ❖ 夏期高温時の使用を避けること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。
  空中散布または無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意すること。
  散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。